
オンラインホワイトボード（Miro）を使ってグループワークの進捗を把握

科目名：ICT 社会基盤デザイン特論

担当教員：荒川豊 教授（システム情報学研究院）

形式：オンデマンド+リアルタイム型

学年：大学院生

人数：20人

ツール：Miro, Zoom, Slack

評価方法：レポート、出席

Q1. この授業で取り入れられた工夫について、改めて具体的に教えてください

この授業では、例年、模造紙とポストイットで実施していたグループワークを、Miro というオンラインホワイトボードに置き換えました。Miro は、模造紙と異なり、広いホワイトボードをエリアに区切って、複数人・複数グループで同時書き込みができます。ズームインすれば自分のグループ、ズームアウトすれば全グループの作業を俯瞰することができます。教員としては、各グループの進捗をひと目で把握できますし、作業の様子を録画することもでき、紙にはない利点が多いと感じました。

Q2. 取り入れた結果、学生の反応はどうでしたか

Miro を活用することで、学生はあたかも教室で模造紙を使っているような感覚でグループワークに取り組めたようです。また、Miro を使うと、他のグループの様子を横目に作業ができることから、対面で実施していた時よりも、今回の方が良いアウトプットを得られたように思います。



Miro で全体が見える

Q3. 取り入れるために必要な準備

オンラインホワイトボードの Miro に加え、会話は Zoom（ブレイクアウトルームを利用）、テキストは Slack で、というように、いくつかのタスクを同時にこなすテクニックが必要になるので、授業前に少し練習しておくとうまいように思います。

～インタビュアー雑感～

オンラインでのグループワークの進捗の確認は大きな課題ですが、Miro を使うことで荒川先生の授業では大いに成功しているように見えました。また、ツールとしての利便性も非常に高いと感じました。



特定のグループを拡大することも可能
